



特集

～世代を超えてスポーツでつながる～

The power of sports

生涯学習課生涯学習係 ☎ 0943-32-0093



スポーツの力

スポーツの楽しさや素晴らしさを広げるべく、昨年から「スポひろ（スポーツプロジェクトひろかわ）」の取り組みを行っています。

このプロジェクトは、スポーツを楽しみながら地域住民の交流を図り、町を活性化させることが目的です。プロスポーツ選手を招いた実践的なものから、年齢や国籍、障がいの有無に関係なく誰でも参加できるもので、さまざまなイベントを企画・実施しています。

今回の特集では、昨年行ったスポひろの取り組みと、スポひろを支える「スポーツ推進委員」の役割と活動をご紹介します。

ロゴを提供します！

「スポひろ」の目的に沿う、企業・団体・個人などに無償でロゴを提供します。詳細は、ホームページをご覧ください。



スポひろ「4つ」の目的



①町のスポーツ振興

気軽にスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツの価値を実感できる町を目指します。

②スポーツを通じた町民の交流

年齢や性別、国籍、障がいの有無に関係なく、町民が交流できる機会を創出し、町の活性化につなげます。

③健康寿命の延伸

高齢者の地域社会への参加を促進するため、健康格差の拡大を防止します。

④観戦や応援でスポーツを楽しむ

感動や他者との共感を体験してもらい、「生きがいとしてのスポーツ」を提案します。

紙ヒコーキ大会

【対象】 どなたでも参加 OK



年齢に関係なく競える紙ヒコーキ大会では大激戦が繰り広げられました。小学生が18m59cm飛ばし、広川レコードを更新！ 参加者からは「折り方飛ばし方で飛距離に変化があり奥が深く楽しかった」との声が聞かれました。

バスケットボール教室

【対象】 小学生と保護者



講師に「ライジングゼファー福岡」の井手拓実選手を迎え、ドリブル・シュートなどの基礎練習から1on1の実技的な練習まで、分かりやすく指導してもらいました。バスケの楽しさとチャレンジすることの大切さを学びました。

第2回グラウンドゴルフ大会

【対象】 どなたでも参加 OK



初めてグラウンドゴルフをする人にとって「ルールが難しい」という課題を解決すべく、広川ローカルルールを策定、適用することで、子どもから高齢者まで楽しみながら親睦を深めることができました。

壮年ソフトボール大会

【対象】 30歳以上



人数不足で試合にエントリーできない行政区から選手を出し合うことで、新たな交流の場が生まれました。今年度のトーナメント戦では「太原B」チームが優勝しました。

スポーツで ひろかわを元気に！

スポーツは、技術の習得や健康な体づくりだけでなく、世代を超えてさまざまな人との交流が生まれる場でもあります。

このページでは、昨年行われたスポーツイベントの概要をご紹介します。

あそびバ！in 広川町

【対象】 年中～小学3年生と保護者



講師に佐田樹里さん（バレーボール元日本代表）、堀内亮輔さん（東京女子体育大学講師）を迎え、ボール遊びを中心に子どもに必要な動作や技能を習得できるプログラムを行いました。

スロージョギング教室

【対象】 どなたでも参加 OK



講師に佐藤紀子さん（日本スロージョギング協会）を迎え、膝や腰に負担が少なく無理のないペースで行うスロージョギングを教してもらいました。参加者からは「これなら無理なく続けられる」との声が聞かれました。

筋トレナイト

【対象】 中学生以下は保護者同伴



プロラグビーチーム「ルリー口福岡」の選手を講師に迎え、筋トレ教室を行いました。今回は体幹トレーニングを行い、参加者からは「きつい筋トレも楽しくできる」「毎回効いている実感がある」などの声が聞かれました。

人権フェスタ・パラスポーツ体験

【対象】 どなたでも参加 OK



福岡県障がい者スポーツ協会から講師を迎え、車いすバスケットボール体験会を行いました。車いすの操作が難しく、参加者からは「思うようにいかない」などの声が聞かれ、車いすの人への理解が深まる体験会になりました。

やりがいは、スポーツを通じて多くの人と出会えることです

【スポーツ推進委員の活動内容】

以前は、毎年10月に開催されていた「広川町民体育大会」のプログラム内容の打ち合わせや準備など、老若男女すべての町民が楽しめるニュースポーツの紹介が主な活動でした。現在は、生涯学習課支援のもと、さまざまな大会やイベントの企画・運営、小中学校の体育のサポートなどを行っています。イベントは、(出) (回) (綱) が中心なので、「無理せず行けるときは行く」ようにしています。

【20年以上の活動を振り返って】

私が委員に着任したころ（当時は体育指導委員）、委員間のコミュニケーションは今ほど活発ではありませんでした。

昨年の広報ヒロカワ2月号で紹介されたスポーツ推進委員が「楽しみながらやっていたら10年が

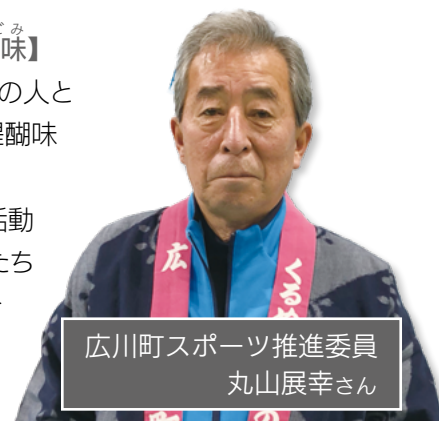
経過していました」と話していましたが、それほどまでに自然とコミュニケーションがとれる委員会になったのだと思います。

現在、スポーツ推進委員12人中8人が10年選手で、皆仲が良く、毎月1回の定例会では活発な意見が出ます。今後は若い世代の委員を募集し、担い手として育てていきたいと考えています。

【活動のやりがい・醍醐味】

スポーツを通じて多くの人と出会えることが一番の醍醐味であり、やりがいです。

スポーツ推進委員の活動に興味がある人は、私たちと共にスポーツで広川を元気にしませんか？



広川町スポーツ推進委員
丸山展幸さん

町のスポーツ振興を支える「スポーツ推進委員」

皆さんは「スポーツ推進委員」をご存知ですか？ スポひろの運営サポートのほか、町にスポーツを普及させるためのさまざまな活動を行っています。スポーツ推進委員の丸山さんと重野さんに、活動内容や入会したきっかけ、やりがいなどのお話を伺いました。

自由に遠慮の無い正直な意見を出し合える雰囲気大好きです

【入会したきっかけ】

18年前に、現在の生涯学習課の課長から「やってみませんか？」とお声がけいただき、入会を決めました。最初は「何をやるのだろう？ 私でやれるの？」と不安はありましたが、「面白そう」という気持ちと、「お役に立てるのなら」という思いから引き受けました。

【印象に残っていること】

今は無くなりましたが、町民体育大会です。当初はお手伝い程度の軽い気持ちでやっていましたが、大会のタイムスケジュールや競技内容の企画など、委員みんなで見えを出し合って運営に携わったこと、

そして大会が盛会に終わったときの達成感や楽しさが一番印象に残っています。

【活動のやりがい・醍醐味】

町のいろんなイベントや行事に参加する中で、参加者から「楽しかったです」「ありがとう」などのお声をいただけることが一番のやりがいです。そのときの達成感がやみつきというか。だから今まで続けてこられたのだと思います。

【スポーツ推進委員会とは】

スポーツに限らず、何にでも積極的に前向きに取り組んでいく会です。いろんな年代の人がいますが、自由に遠慮の無い正直な意見を出し合える雰囲気が大好きです。10年以上続けている人も多く、とても楽しい会です。



広川町スポーツ推進委員
重野久美さん

福岡県スポーツ推進委員 感謝状を受領

12月14日(日)、苅田町で「第61回福岡県スポーツ推進委員研修大会」が行われ、広川町スポーツ推進委員の森下文恵さんと田中輝昭さんが感謝状を受領しました。

森下さんと田中さんは、10年以上に渡ってスポーツ推進委員として、地域のスポーツ振興やイベント運営などの活動を行っており、その功績が認められ感謝状が贈られました。



The power of sports ～スポーツの力～

スポーツの力。それは、心身の成長のみならず、一つの目標に向かって他者と尊重し合いながら取り組むことで、コミュニケーション能力の育成や連帯感の醸成にもつながります。スポーツ推進委員会は、楽しみながらそのような貴重な体験ができる場所です。



スポーツ推進委員募集

一緒に広川町のスポーツ振興に取り組みませんか？ 詳細は、生涯学習課生涯学習係（☎0943-32-0093）までお問い合わせください。



広川町スポーツ推進委員会
会長 池尻浩一さん

スポーツを通じて幅広い年代の人と出会うことができ、社会貢献と個人の成長を実感できる充実した仕事です。